

日本知的障がい者陸上競技連盟 陸上競技活動再開ガイドライン

1 はじめに

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020東京大会の延期が決定しました。その後の緊急事態宣言発令を受けて、当連盟主催の日本ID陸上競技選手権大会の延期だけでなく、地域の陸上競技場の閉場等、陸上競技に取り組んでいる会員のみならず、大きな影響がありました。

5月末の緊急事態宣言解除後においては、「新しい生活様式」を取り入れた日常の活動を「段階的に再開」していくフェーズに入りました。その中で陸上競技を再開するためには、最重要である「感染拡大の防止」のための行動に、一人ひとりが最大限努める必要があります。

知的障がい者陸上競技の再開には、知的障がいを持つ選手と周囲の様々な立場の支援者の方々とが一体となって取り組む必要があると考えます。このガイドラインは、その活動再開にあたっての指針を示すものとなっています。

2 陸上競技活動再開の前提条件とガイドラインの構成

陸上競技活動再開にあたっては、政府の方針、各地区の感染状況・警戒レベルや行政判断等を優先させることが前提となります。

当連盟の会員の多くは公益財団法人日本陸上競技連盟(以下、JAAF)公認競技会に参加しています。また、知的障がいの特性を踏まえると、JAAFが2020年6月11日に公開した「陸上競技活動再開のガイダンス」を、知的障がいを持つ選手にも理解しやすいようアレンジすることが重要であると考えました。また、本ガイドラインは今後の政府の方針、感染状況・警戒レベルの変化等により、内容を更新していきます。以下、構成を示します。

●選手のみならずへ

- ・練習の時に守るべき行動

●強化指定選手のみならずへ

- ・強化指定選手としての活動再開ロードマップ

●支援者のみならずへ

- ・コロナ禍からくる見通しの持ちづらさにより、精神的に不安定になる選手もいるかと思えます。まずは心の安定を図り、無理せず、少しずつ、楽しめる運動から始めましょう。
- ・知的障がいを持つ選手らは、感染症の3要素(感染源、感染経路、感受性のある宿主)等について、理解した上での行動が難しい方が多いかと思えます。選手向けの、「練習の時に守るべき行動」を、選手の日頃の活動手順、ルーティンの中に組み込み、感染拡大防止への行動をお願いします。
- ・「JAAF ガイダンス②日常活動について」を御熟読いただき、活動計画を作成ください。障がいの有無に関わらず、陸上界からクラスターを発生させない体制を整備し、着実に活動を再開させていくこ

とが重要です。

- ・ PCR 検査での陽性者が出た場合、[日本知的障がい者陸上競技連盟事務局 080-4429-1672](tel:080-4429-1672) への報告をお願いします。

●競技会開催について

- ・ 後日公開します。

●参照資料

- 1) 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
[スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドラインについて](#)
- 2) 日本パラリンピック委員会
[パラアスリートのためのコロナウイルス感染症予防について](#)
- 3) スポーツ庁
[スポーツ関係の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインについて](#)
- 4) 厚生労働省
[新型コロナウイルス感染症について](#)
- 5) 外務省
[新型コロナウイルス感染症に関する重要なお知らせ](#)
- 6) 環境省
[新型コロナウイルスに関連した感染症対策](#)
- 7) 日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンススポーツセンター
[【臨時特設サイト】\(競技団体、アスリート向け\)について](#)
- 8) 公益財団法人日本陸上競技連盟
[陸上競技活動再開のガイダンス策定のお知らせ](#)